

遺伝カウンセリング科のご紹介

星総合病院では1991年より「がんの遺伝外来」を開始し、遺伝性の乳がんや大腸がん（生まれつきがんになりやすい体質を持って発症したもの）を中心に患者さんやそのご家族へのサポートを続けてきました。2017年には「遺伝カウンセリング科」を立ち上げ、婦人科腫瘍や先天性疾患へのサポートにも力を入れるようになりました。現在は、様々な診療科が関わる遺伝性疾患についての情報提供や心理社会的支援（疾患に対する不安や葛藤、社会制度や患者会に関するサポートなど）をしています。

● 認定遺伝カウンセラー®とは？

遺伝性疾患に関する情報を分かりやすく伝え、患者さんやご家族（これから発症する可能性がある方を含む）が抱える不安や葛藤などに対してサポートをする専門職。
2005年に誕生した認定遺伝カウンセラー®は、現在福島県内3名、東北10名、全国267名が活躍しています。（米国では5,000名以上の遺伝カウンセラーがいると言われています）

● 遺伝性疾患とは？

生まれつき遺伝子や染色体に変化があることで生じる疾患や体質のこと

● 遺伝子検査とは？

遺伝学的検査。生まれつき持っている遺伝子やDNAの特徴を調べる検査のこと。多くの場合、血液を用います。

● 遺伝医療とは？

DNAや遺伝子などの情報を用いて疾患の診断や治療、検診などを行う医療のこと



外科・がんの遺伝外来

がんの遺伝に関するカウンセリング、遺伝子の検査、遺伝性のがんと分かった方やそのご家族へのサポートなどを行っています。

外来枠：水曜日午後（14：00～ または 14：30～）

担当：野水 整（外科医師）
勝部 暢介・赤間 孝典（認定遺伝カウンセラー）

料金：遺伝子の検査は保険診療もしくは研究費で行える場合があります
相談のみの場合は1回につき5,000円＋税（自費診療）

ご質問などある方はスタッフにお声がけ下さい。

認定遺伝カウンセラーの紹介動画はQRコードからご覧下さい。

